

摘果作業お疲れ様です。生育状況は、平年並か平年よりも2~3日遅れていると思われます。
結実した果実が無事に収穫できるよう、今後の管理作業・防除の徹底をお願いします。
引き続き、シンクイムシ類の重点防除となります。授粉樹も含め、死角がないように散布しましょう。

1. プラム（2回分の防除を掲載）

【第8回 定期防除】 対象病害虫：シンクイムシ類、ケムシ類、灰星病

散布時期	・6月13日~6月22日（第7回定期散布から10日後）		
散布薬剤	水	100ℓ当り	散布日 6月 日
	展着剤	10mℓ	
	ベルコートフロアブル	50mℓ（3日前、3回）	散布量 ℓ
	エクシレルSE	40mℓ（前日、3回）	
散布量	10aあたり 500ℓ		
注意事項	【黒斑病（かいよう病）対策】 バリダシン液剤5の500倍（3日前、4回）またはスターナ水和剤の1000倍（7日前、3回）を加用する。		

【第9回 定期防除】 『大石早生』 最終防除

・対象病害虫：灰星病、アブラムシ類、（シンクイムシ類）

散布時期	・6月22日~6月30日（第8回定期散布から10日後）		
散布薬剤	水	100ℓ当り	散布日 6月 日
	展着剤	10mℓ	
	オンリーワンフロアブル	50mℓ（前日、3回）	散布量 ℓ
	劇バリアード顆粒水和剤	50g（前日、2回）	
散布量	10aあたり 500ℓ		
注意事項	【黒斑病（かいよう病）対策】 バリダシン液剤5の500倍（3日前、4回）またはスターナ水和剤の1000倍（7日前、3回）を加用する。		

劇・・・劇物をご購入の際は、印鑑をお持ちください

裏面もご覧ください

2. プルーン

【第5回 定期防除】 対象病害虫：：灰星病、炭そ病、アブラムシ類、シンクイムシ類、ウメシロカイガラムシ

散布時期	・6月12日～6月21日 (第4回定期散布から14日後)		
散布薬剤	水	100ℓ当り	散布日 ____ 6月 ____ 日 散布量 ____ ℓ
	展着剤	10mℓ	
	フリントフロアブル25	50mℓ (前日、2回)	
	劇ダースバンDF	33g (14日前、2回)	
	劇バリアード顆粒水和剤	50g (前日、2回)	
散布量	10aあたり 500ℓ		
注意事項	摘果果実は、腐敗病の伝染源になりやすいので、土中深く埋めるか、園外へ除去する。		

●着果管理について

園地、品種によっては、結実不良がありました。結実が悪い場合は、「1果そうに2果結実させる」、「摘果を行わない」など、可能な限り着果を確保して下さい。

5/25 スモモヒメシンクイ発生状況(フェロモントラップ調査)

* ()内、前回 5/18 調査数

上今井 - 3頭↓(6) 草間 - 11頭↓(19) 一本木 - 22頭↑(7) 倭 - 87頭↑(22)

【重要】シンクイムシ類の被害果は、園外へ除去し処理をお願いします。

予備摘果 (基礎資料)

時期	摘果の程度	備考
満開～30日頃 (果実の細胞数の増加期)	大石早生、静香……最終着果量の2～3割増 太陽、貴陽 …… " 3～4割増	生理落果 少 " やや多

方法	残す果実	落とす果実
	①品質本来の形、正常果 ②果実が大きく縦長なもの ③果梗が太く、緑色の濃いもの ④着果位置が横向きか下向きのもの	①変形果、傷果、病虫害果 ②着果位置が上向きなもの (日焼け、傷果が発生する)

仕上げ摘果 (基礎資料)

(果実1個に対し15～20枚の葉数) 満開後50～60日頃に下記を目安に摘果を行う。

◎プラム (中～長果枝) *短果枝群は中玉 (3～4芽に1果) ・大玉 (5～6芽に1果)

種類	目標果重	摘果基準	品 種
中玉果	60～70g	8～10cmに1果	大石早生、菅野中生
大玉果	80～120g 150g～	10～15cmに1果 15cm～	紅りょうぜん、ソルダム、サマーエンジェル、太陽 貴陽、秋姫 受粉樹も摘果を実施する。

◎プルーン

種類	目標果重	摘果基準	品 種
小玉果	30～40g	5cmに2果	サントス、サンプルーン、シュガー
中玉果	50～60g	10cmに3果	くらしま早生、くらしまプルーン、スタンレイ
大玉果	70～100g	10cmに1～2果	パープルアイ、グランドプライズ、プレジデント

次回特報発行予定日：6月17日

問合先：園芸課・担当 横田 (080-5147-8257)

